

2024-2025  
WINTER

冬

Live well リブウェル発

# 暮らしの通信

発行 (株)丸善遠藤装室  
静岡市葵区沓谷6-8-10  
TEL (054) 261-1334  
FAX (054) 261-1339  
<http://www.maruzen-endo.co.jp>  
E-mail. [livewell@maruzen-endo.co.jp](mailto:livewell@maruzen-endo.co.jp)



※参考商品：LIXIL「リシェル」シリーズ

インテリアに深みを与えるダークトーン。このトレンドをぜひ取り入れて、素敵な空間作りをしてください。

重厚感がある分、圧迫感を感じやすいのがダークカラーのデメリットでもあります。大きな面積で使うよりも、適度なボリュームでアクセントとして取り入れるのが、失敗しないためのコツです。壁・天井のうち2面以上を暗くすると、圧迫感が増してしまっても。無難を目指すなら、ダークカラーの割合を全体の3割程度に収めておきましょう。

家具ならもつと気軽です。ソファ、テーブルなど、目につきやすい大きめのものからダークカラーで揃えてみて。

シックで高級感あふれるダークトーンの魅力はつきません。インテリアに取り入れる時は、1色ですべてを統一するのではなく、木目と組み合わせるのが最近の定番です。

引き締めのダークカラーとナチュラル素材により、洗練とぬくもりの調和が生まれます。木目は明るいものから暗いものまで色味も様々。組み合わせ次第で多彩な表情を見せてくれます。

## 失敗しないための 色使いのコツ

シックで高級感あふれるダークトーンの魅力はつきません。インテリアに取り入れる時は、1色ですべてを統一するのではなく、木目と組み合わせるのが最近の定番です。

シックで高級感あふれるダークトーンの魅力はつきません。インテリアに取り入れる時は、1色ですべてを統一するのではなく、木目と組み合わせるのが最近の定番です。

# インテリアを ダークトーンに

ここ数年のインテリアは、ダークトーン人気が続いています。黒や濃いグレー、濃紺、濃いブラウンなど、落ち着きの感じられる深みカラーのことで、壁や建具のほか、たとえばシステムキッチン※でも、天板、扉やパネルによく選ばれるようになります。

なりました。リビングとひと続きのオーブンキッチンの住まいなら、高級感あるダークトーンはよく映えます。



## ダークトーンの 良さを住まいに

住まいをかっこよく、  
ハイセンスに。  
注目のダークトーン・  
インテリアに挑戦!



ダークなインテリアを  
活かす照明に注目!  
●光を反射する黒

黒は光を吸収する色。照明をやらかく反射し、より味わい深い空間にしてくれます。

●光を反射する黒

黒は光を吸収する色。照明をやらかく反射し、より味わい深い空間にしてくれます。

## バスルームをくつろぎ空間に

バスルームでもダークトーンはトレンドです。黒・グレーベースの浴室空間は、照明の使い方で、クールにもナチュラルにも変化します。

レーメーの「スパージュ」は、照明使いにこだわったバスルームの人気シリーズ。天井の端に光の帯を作れるライン照明、アクアタワーライトなど、こだわりが詰め込まれています。詳しくは公式サイトの動画をチェックしてみて。



ダウンライトのやさしい光でリラックス

LIXIL「スパージュ」公式サイト：照明 <https://www.lixil.co.jp/lineup/bathroom/spage/feature/lighting/>

暮らしメモ

# 冬の体をとことん温める

寒い季節、気づかないうちに手足が冷え切り、体全体が縮こまってしまうことがあります。この季節を健やかに乗り切るために、生活の中で簡単に実践できる温めアイデアをご紹介しましょう。

## 冷えと眠りの相互作用

冷え性だから眠れない？ 眠不足だから冷え性に？ 冷えと睡眠には深い関係があります。負のスパイラルにはまらないで。



ぐっすり眠るために心がけよう

### 規則正しい生活リズム

毎日同じ時間に寝て、同じ時間に起きる習慣をつけましょう。体内時計を整えることで、自然に眠れる体になります。

### 快適な寝室

冬の寝室には、適度な暖かさと湿度を。布団や毛布はおやすみ前に軽く温め、加湿器も用意しましょう。

### お風呂

睡眠の1～2時間前に、ぬるめ(38～40°C)のお湯にゆっくり(10分以上)浸かりましょう。体を温めることで緊張がほぐれ、よい眠りにつながります。

### 足湯

足湯で血行を促進すれば、睡眠の質の向上につながります。就寝の30分～1時間前にリラックスタイルを。

## 体を温める食べ物、飲み物

日常的に体を温める食材を取り入れることで、冷えに強い体を作りましょう。

### 温め食材の例

- 生姜、にんにくなどの香味野菜
- ごぼう、にんじんなどの根菜類
- 肉、魚などたんぱく質
- 紅茶、ハーブティー、ホットワイン



## 「首」が大事 冬に大活躍の あったかアイテム

首に加えて手首、足首。「首」のつく場所は血流の多い血管の集まる場所。ここをしっかりケアすることで、効率的に全身が温まります。様々な便利グッズを活用して。

充電式ゆたんぽ

レッグウォーマー

ネックウォーマー

## 冷えない体を作る エクササイズ

筋肉量が増えると、基礎代謝が上がります。脂肪を減らし筋肉を増やす体幹トレーニングを行いましょう。

### 初心者におすすめ 片足立ち筋トレ

- 両手は腰、体重を均等に両足にかける。
- 膝が直角になるよう、床と太ももが平行になるまで、ゆっくりと片足を上げたら1分キープ。
- 足を交代でさらに1分。

①～③を1日3回程度繰り返す。



## 暮らしのレシピ

### 体を温める！ 野菜のスープ 3種

寒い季節にぴったりのスープをご紹介。時短簡単しうがのスープからポタージュまで、気分に合わせてお楽しみください。

#### しょうがのスープ

##### ▼材料(4人分)

しょうがのすりおろし ..... 2かけ分

鶏ガラスープ ..... 大さじ1.5

水 ..... 3カップ しょうゆ ..... 小さじ2

①鍋に鶏ガラスープと水を入れて火にかける。沸騰したらしょうがを加え、しょうゆで味を調える。

#### 白菜のスープ

##### ▼材料(4人分)

ベーコン ..... 200g 玉ねぎ ..... 1/2個

白菜 ..... 400g 固形ブイヨン ..... 2個

水 ..... 2カップ 牛乳 ..... 2.5カップ

【下準備】ベーコン、白菜は1～2cm幅にカット。玉ねぎはスライスする。

①鍋にサラダ油(分量外)を熱し、ベーコン、玉ねぎを中火で炒める。



#### かぼちゃのスープ

##### ▼材料(4人分)

玉ねぎ ..... 1/2個 かぼちゃ ..... 400g

バター ..... 大さじ2 牛乳 ..... 2カップ

水 ..... 2カップ 固形ブイヨン ..... 2個

塩・こしょう・パセリ ..... 適量

【下準備】かぼちゃは種とワタを取り、皮を剥いて一口大、玉ねぎは薄切りに。

①鍋にバターを溶かし中火で玉ねぎを炒める。しんなりしたらかぼちゃ、水、固形ブイヨンを加え15分煮る。

②かぼちゃが柔らかくなったら火を止める。粗熱がとれたらブレンダーでなめらかになるまで攪拌する。

③②に牛乳を加えて再度加熱し、塩、こしょうで味を調える。器に盛り付け、お好みでパセリを添えて。

## 暮らしのヒント

### 焚き火の魅力

リラックス、ストレス解消、身近な人との関係を深めて



焚き火にはまる人が増えています。炎の揺らめきと暖かさが心を穏やかに癒し、ストレス解消になるのだとか。この冬、家族や友人と火を囲み、ゆったりと流れる時間を楽しんでみては？ 安全性を考慮した手軽なツールも市販されているので、ぜひチェックを。

※焚き火を始める前に、必ず各自治体の条例や地域のルールを確認しましょう。

火の管理や環境保護に十分配慮してください。



## 暮らしのワンポイント

結露の原因「温度差」をどう解消する？

ポイントは断熱。この冬やっておきたい結露対策

冬の住まいの悩みの1つが窓辺の結露。結露は、暖かい室内にただよう

水蒸気が、冷たい窓に触れて水滴に変わることで起こります。こまめな換

気や室内の空気循環をよくすることで対策になります。また、根本的な解

決策として、窓そのものの断熱があります。内窓や断熱窓を設置すれば、

室外の冷たい空気が伝わりにくくなり、結露を防ぐことができます。